



ぬかただより

岡崎市立額田図書館
春号 No. 66
2023年3月発行

岡崎市の鳥 ハクセキレイ

額田地区周辺では、季節により様々な野鳥の鳴き声を聞くことができます。ウグイス、ルリビタキ、オオルリ、ヒヨドリ、セグロセキレイ、キセキレイ、メジロ、カワセミ、アオサギ、モズ、トビなどが観察できるそうです。今号は、この辺りで実際に見かけた野鳥をいくつか紹介します。



撮影:額田スタッフ(2023年1月)



Takashi YanagisawaによるPixabayからの画像

カケス おおだの森

おおだの森の山頂で拾ったカケスの羽です。カケスはいろいろな鳥の鳴き真似をします。「ピーヒョロロ(とび)」と鳴いたり、ネコの鳴きまねもするとか。何回か鳴いた後、たまりかねたようにカケス本来の濁った声で「ジュー」と鳴いてしまうところが憎めない鳥です。



撮影:額田スタッフ(2021年5月)

ツバメ 額田センター

5羽のツバメの雛が勢ぞろい。ツバメは渡り鳥です。巣立ったその場所に正確に帰ってくる高い帰巣能力があり、昼は太陽、夜は星の位置から、自分の位置を知るといわれています。毎年同じ巣にツバメが帰ってきていても前の年と同じ鳥とは限りません。地鳴きは「チュピツ」渡りの時も鳴きながら飛びます。



水とみどりの森の駅ホームページより

サンコウチョウ 鳥川地区

日本には夏鳥として渡来します。「フィチイ、フィチイ、ホイホイホイ」とさえずる声を、昔の人は「月、日、星」と聞いて三光鳥さんこうちょうとしました。利用者様より「この辺でも見ることができらしい」とお聞きし、調べてみると鳥川地区でした。



額田センター付近 アオゲラ

アオゲラはキツツキです。頭が真っ赤で背中が黄緑色。鳴き声は「ピョーピョー、ケレケレ、キョッキョ」飛び立つ時は「ケケケ」と大きな声で鳴きます。日本にしかいないそうです。



Takashi YanagisawaによるPixabayからの画像



撮影:額田スタッフ(2021年7月)

アオバズク 本宿町

日本には夏鳥として渡来します。神社・仏閣の樹林などで見ることの多い種です。育った雛が枝にずらっと並び様子が見られることもあるそうです。「ホーホー」とくり返し鳴きます。

鳴き声で会話！ シジュウカラ



Takashi YanagisawaによるPixabayからの画像

おおだの森で見ることができるシジュウカラは仲間同士で会話をしているそうです。親鳥はアオダイシヨウがいたら「ジャージャー」、ハシブトカラスが近くにいると「チカチカ」と鳴き、巣の中にいるヒナに知らせます。ヒナたちは「ジャージャー」と聞くとへビから逃れるため巣の外に逃げ出し、「チカチカ」の場合は体を低くしてカラスをやり過ごすのです。群れで生活している時も、「ヂヂヂヂ」と鳴けば「集まれ!」、「ピーツピ」と鳴けば「警戒しろ!」、二つを合わせて「ピーツピ、ヂヂヂヂ」は「気を付けて集合」という意味になります。実験で語順を逆にして「ヂヂヂヂ、ピーツピ」と合成した声を聞かせても反応しなかったため、文法があることも明らかになりました。シジュウカラは実に20以上の単語を使い分け、200種類以上の文章をつくっていると考えられています。

●参考資料●鈴木俊貴「鳴き声は文章『鳥語』発見」『日本経済新聞』2022年6月30日朝刊、文化p.44、「トリノトリビア」川上和人/監修 西東社 488.0/ト、「庭や街で愛でる野鳥の本」大橋弘一/著 山と溪谷社 488.2/二、「日本の野鳥」叶内 拓哉/写真・解説 山と溪谷社 488.0/二、「レッドデータブックおかげさき2014」岡崎市/編 岡崎市 A462/レ、「ふるさと読本『ぬかた』第3版」ふるさと読本『ぬかた』編集委員会/編 額田町教育委員会 AN/293/フ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会、ブックスタートは中止や変更をしております。

最新情報は、図書館ホームページ、館内掲示等でご確認ください。



春号のおすすめ本

ちいさいこむけ

『る』

さいとうしのぶ/作・絵 PHP 研究所 E/ル



しりとりはかせが オウムのルドルフと しりとりをしているよ。

『る』から はじまることばが おもいつかない はかせは ことばさがしに でかけたよ。カレーのルー、ルービックキューブ…。

うわあ! 『る』のつくことばが いっぱいじゃ!

はかせが みつけた ことばのほかにも 『る』から はじまることばが たくさん かくれているよ。さがしてみてね。

さて、いえにもどった はかせ。ふたたび しりとり しょうぶじゃ! かったのは どっちかな? カタカナのことばが いっぱい でてくるよ!

YA 向け

『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎/著 マガジンハウス YA/159.5/キ



中学2年生コペル君の成長物語です。本書では、コペル君の叔父さんによる「おじさんの NOTE」がガイド役。

経済学や歴史、「有難い」ということの意味、貧困やいじめ…。現代にも通じるテーマが盛り沢山です。

自分を振り返り「私だったら…」と考えさせられます。まさしく「君たちはどう生きる?」とコペル君に投げかけられています。中学生や高校生だけでなく、社会人も必読に値する1冊。

小学生向け

『野鳥のレストラン』

森下英美子/文 少年写真新聞社 488/ヤ



野鳥たちの食事の様子をのぞいてみませんか?

この本は、いろいろな場所で食事をする鳥たちが写真で紹介されています。「花のレストラン」では顔に花粉をつけて、花のみつを吸うヒヨドリやメジロの姿。「水辺レストラン」ではミサゴが魚をつかまえる瞬間。「街中レストラン」ではハシブトカラスが道でパンをつつく姿。他にも鳥がフンをした瞬間や、胃袋の中身などちょっとびっくりするような写真もあります。

野鳥さん、今日のメニューは?

大人向け

『トリノトリピア』

鳥類学者がこっそり教える野鳥のひみつ

川上和人・マツダユカ/著 西東社 488.0/ト



No Image

「カラスはときに吸血鬼になる」「ミミズクのみみは耳じゃない」「キツツキは脳に損傷を受けるほど木をつつく」本書は、思わず人に話したくなるような野鳥の豆知識が満載です。

空を自由に飛ぶ鳥の全容を捉えることは難しく、生態はまだまだ謎ばかりですが、ユーモアたっぷりの四コマまんがで、野鳥の生態を想像することができる楽しい本です。

春になると、図書館周辺ではウグイスの鳴き声をよく耳にします。鳴き始めの頃は、まだ練習中なのか、つたない感じなので、思わず心の中で(頑張って!)とエールを送ることもあります。鳥や動物の鳴き声を人間の言葉に当てはめて聞くことを「聞きなし」と言うそうです。ウグイスはよくご存知の「ホーホケキョ(法華経)」です。

自然のBGMを聞きながらの読書…。贅沢な時間を過ごしに、ぜひ額田図書館へお越しください。



岡崎市立額田図書館

榊山町字山ノ神 21 番地 1 TEL 82-2953



【開館時間】9:00~19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。